

地震防災について考えよう!



地震による被害を軽減するためには、日頃からの備えが最も重要です。
普段から地震防災について考え、
家庭で災害用備蓄や避難経路について話し合っておきましょう。



地震解錠ボックス

震度5弱以上の揺れを感知した場合にボックスが自動解錠します。
ボックス内には施設内へ入るための鍵が保管されており、施設の閉館時間中に地震が発生した場合でも、施設内へ避難することができます。



設置場所や
避難経路は
市ホームページで
確認できます。



設置施設

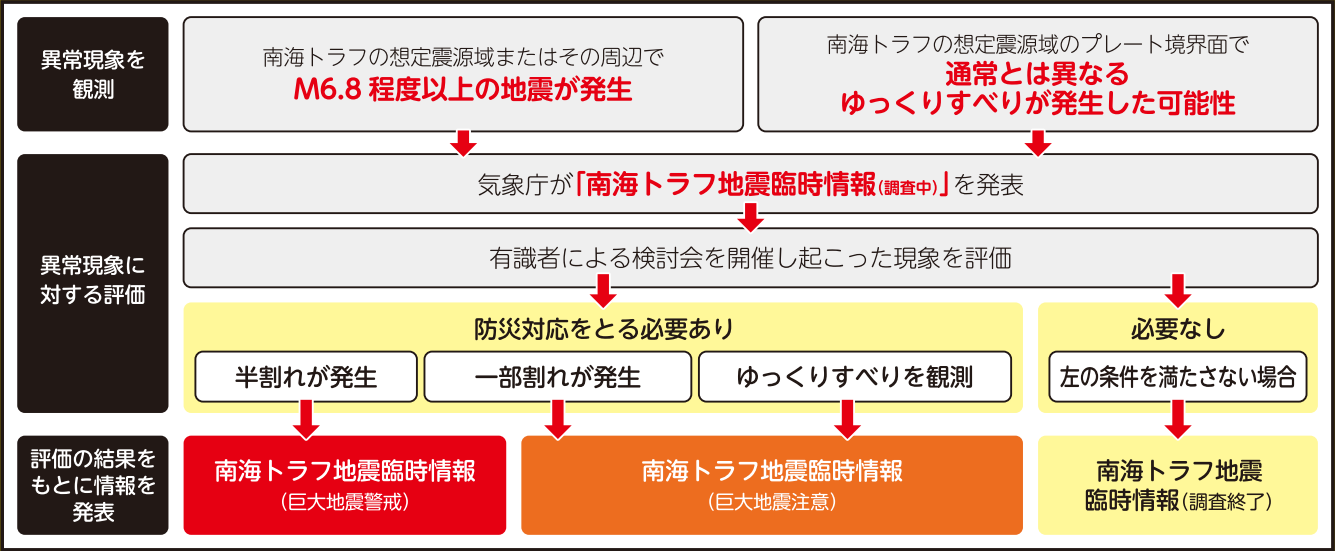
白鳥学区	白鳥コミュニティセンター 白鳥小学校 弥富北中学校 愛知自動車整備専門学校 白鳥保育所	大藤学区	農村環境改善センター 大藤小学校 弥富中学校 大藤保育所
弥生学区	総合福祉センター 弥生小学校 農村多目的センター 弥生保育所 西部保育所	栄南学区	南部コミュニティセンター 栄南小学校 栄南保育所 のびのび園
桜・日の出学区	総合社会教育センター 桜小学校 日の出小学校 南部保育所 ひのではばたきこども園 桜保育所	十四山地区	TKE スポーツセンター 十四山西部小学校 十四山東部小学校 旧十四山中学校 十四山支所 十四山保育所

南海トラフ地震臨時情報

南 海トラフ沿いで大きな地震などが発生すると、南海トラフ地震が発生する可能性が平時より高まります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ地震の想定震源域周辺でマグニチュード 6.8 以上の地震が発生した場合などに、気象庁から発表される情報です。

発表の流れ



発表時に求められる行動

	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)		南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)		調査終了
発表後～1週間	・日頃からの備えの再確認 (避難経路、家族との連絡手段、備蓄品) ・すぐに逃げられる態勢の維持 (非常持出品の携行など) ・事前避難の実施	特別な警戒の呼びかけ	日頃からの備えの再確認 (避難経路、家族との連絡手段、備蓄品)	特別な注意の呼びかけ	地震に注意して通常生活を送る
～2週間	・日頃からの備えの再確認 (避難先と避難経路、家族との連絡手段、備蓄品)		地震に注意して通常生活を送る		
2週間～	地震に注意して通常生活を送る				

「特別な警戒の呼びかけ」、「特別な注意の呼びかけ」が発表されている期間は、気象庁や市から発信される情報には特に注意して防災行動をとりましょう。
※呼びかけの終了後も、地震発生の可能性がなくなったわけではないので、地震への備えを継続しましょう。

 **南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)**が発表されたら、弥富市は**事前避難対象地域の住民**に事前避難を呼びかけます！

事前避難対象地域とは

地 震発生後30分以内に津波の基準水位が30センチ以上となる地域を指定しています。
(津波の基準水位は、地震に伴う堤防の沈下による河川の水の流入を含みます。)

事前避難対象地域の指定状況		
学 区	地 区 名	
白鳥学区	佐古木	一丁目、二丁目、三丁目
	五之三	全域
弥生学区	五明	全域
	荷之上町	川田、中焼田、小新田
	海老江	全域
	鮎浦町	用水上、下与太
	桜学区	小島町
栄南学区	鍋田町	全域
	上野町	全域
	曙	全域
	富浜	二丁目
	東末広	五丁目、七丁目、八丁目、九丁目、南飛島リノ割
十四山地区	善太町	全域
	上押萩	全域
	下押萩	全域
	海屋	全域
	竹田	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、六丁目
	神戸	六丁目、七丁目、八丁目、十丁目、北新田東ノ切
	馬ヶ地	一丁目、二丁目
	鮫ヶ地	二丁目、四丁目



地域によって浸水する時間に差はありますが、時間が経つにつれて**市内のほぼ全域が浸水**する恐れがあるため、「事前避難対象地域」以外にお住まいの方も事前避難を検討してください。



事前避難の呼びかけがあったら

浸水の恐れがない地域への縁故避難または広域避難

縁故避難または広域避難が難しい場合

市が開設する避難所への避難

○市が避難所などに備蓄している物資は災害発生時用ですので、事前避難時には活用できません。避難生活に必要な食糧や寝具などは各自で準備し、不足する場合は避難生活中に各自で調達しましょう。

そなえる 防災・減災備し診断

愛知県が公開している Web サイトで、家族構成などの簡単な質問に回答すると、必要な災害用備蓄の種類や量を診断できます。



浸水津波
ハザードマップ



市指定避難所



緊急時避難場所

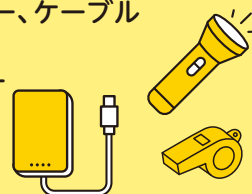
災害用備蓄

命を守り、避難生活のストレスを和らげるため、必要な物は自分で準備しておきましょう。

1 外出時でも常に持ち歩く

- ◇普段持ち歩くバッグに少しプラスしましょう
- ◇自家用車を有効活用しましょう
※車内が高温になる可能性があるため、モバイルバッテリーや食糧に注意

- ・モバイルバッテリー、ケーブル
- ・ライト
- ・ホイッスル、ブザー
- ・携帯トイレ
- ・ポリ袋
- ・あめ、ようかん



2 災害時にまず持ち出す

- ◇持ち出しやすい場所(玄関、リビング、寝室)に保管しましょう
- ◇1カ所にまとめず、複数の場所に保管しましょう

- ・上着、手袋、雨具
- ・ヘルメット、ヘッドライト
- ・衣類
- ・マスク、除菌シート
- ・常備薬、持病薬
- ・食糧、飲料水



3 在宅避難、長期の避難生活で使用

- ◇地震の揺れで落下して避難経路をふさぐ恐れがない場所に保管しましょう
- ◇1カ所にまとめず、複数の場所に保管しましょう

- ・蓄電池
- ・トイレットペーパー
- ・ポリタンク
- ・洗面用具
- ・カセットコンロ、ボンベ
- ・食糧、飲料水(3～7日分)

